

協働事業 審査結果

事業名	審査項目								合計	
	公益性 ※	課題の解決 ※	効果・成果	役割分担	相乗効果	先駆性 専門性 柔軟性等	適正な予算	実現性 ※		
1 【団体提案】鎌倉ダイバーシティを体験しよう！ 家族で楽しめる多世代・多文化・多言語の学校	担当課：文化人権推進課	2.4	3.0	3.2	2.2	2.6	3.0	2.4	3.8	22.6
	団体：ヒッポファミリークラブ大船鎌倉									
2 【市提案】史跡協働管理事業	担当課：文化財課	4.2	4.4	4.2	4.0	3.8	3.8	4.2	4.6	33.2
	団体：NPO法人鎌倉みどりのレンジャー									
3 【団体提案】戦国時代の鎌倉の歴史遺産デジタルアーカイブ事業	担当課：文化財課、鎌倉国宝館	3.6	3.0	3.2	3.2	3.2	3.6	3.2	3.6	26.6
	団体：玉縄城址まちづくり会議									
4 【市提案】コミュニティカフェを目指した生涯学習センターロビーの活用検討	担当課：教育総務課生涯学習センター	4.75	3.75	4.50	4.50	4.50	3.75	4.50	4.75	35.0
	団体：特定非営利活動法人鎌倉市市民活動センター運営会議									
5 【団体提案】—鎌倉の食を楽しむ—料理メニューの多言語化	担当課：観光商工課	4.6	4.4	3.8	3.8	4.2	4.4	4.2	4.0	33.4
	団体：NPO法人JIAOLIU鎌倉									
6 【市提案】鎌倉の観光事情に詳しい市民活動団体のノウハウを生かした観光案内図作り	担当課：観光商工課	4.4	4.0	3.6	3.4	3.8	3.8	4.0	3.4	30.4
	団体：鎌倉・文化の森									

市との協議に進める団体の提案は、※印の項目の平均点が3点以上で、かつ合計が24点以上。

各事業に対する鎌倉市協働事業選考委員会の講評(要約)

* 鎌倉ダイバーシティを体験しよう！家族で楽しめる多世代・多文化・多言語の学校

- 計画の内容に不明瞭な点があり、計画と目的の関連性が見えづらかった。
- 協働事業は、市と団体がお互いのノウハウやリソース等の利点を生かして行う事業であるべきだが、この事業については市に求められる役割が、施設の貸出、広報等に限られており、協働事業として行う意味が弱いと思われた。
- しっかりした団体であるため、提案事業を市(担当課)と共にブラッシュアップして、是非再度提案してもらいたい。

* 史跡協働管理事業

- 計画の内容が明確で、団体もしっかりしており、市との協働の相手として適任である。
- 公益性が高く、協働の意義がある。
- 行政の仕事を安く手伝うだけにならないよう、取り組みの大変さや楽しさを市民へアピールする活動にして欲しい。

* 戦国時代の鎌倉の歴史遺産デジタルアーカイブ事業

- 団体から負担金を支出するのは評価に値する。
- この事業で何を担当課に期待しているのか、分かりにくい部分があった。担当課と団体で、内容について調整をした上で、「歴史・民族行事等の資料収集を含めたデジタルアーカイブ化」から目的が逸れることがないように実施すること。

* コミュニティカフェを目指した生涯学習センターロビーの活用検討

- 既にきららカフェは良い形で実現しているので、市民の声やアイデアを集め、是非素敵なホールに発展させて欲しい。
- NPOを通したマーケティングを行い、それを生かそうとする仕組みは協働に馴染むものである。

* ー鎌倉の食を楽しむー料理メニューの多言語化

- 質の良い観光サービスの提供のため是非進めて欲しい。
- お店が自らメニューを翻訳できるソフトを提供するのは大変良い。利用してもらうためにハードルをどう下げるか、利用するお店をどう増やすかを工夫して欲しい。
- タイムリーな企画であり、市民力を生かした観光基盤作りに資する事業である。

* 鎌倉の観光事情に詳しい市民活動団体のノウハウを生かした観光案内図作り

- 団体の構成メンバーが梶原の住民のみであるため、市全体の観光案内図作りに際しては、全市で活動する団体の協力を得て、現地と連携して実施すること。
- 自分のまちの地図は自分で作るというムーブメントがここから生まれると面白い。
- 若手メンバーを加え、現地取材をしながら、まちを知ってもらう取り組みに昇華できる可能性がある。